

臨床研究情報公開文書 (東海中央病院で実施する医学系研究)

2025年8月19日作成

研究課題名	当院における気管挿管を伴う人工呼吸器管理を受けた75歳以上患者の後方視的検討
研究の対象・期間	当院における気管挿管を伴う人工呼吸器管理を受けた75歳以上患者さん 研究期間:2014年1月1日~2024年12月31日
研究の目的	高齢患者さんの気管挿管、人工呼吸器管理について、治療効果に関する研究報告はほとんどありません。高齢患者さんは、重篤な病気に罹患された場合、治療の過程で、管がついたままの状態でお亡くなりになる事が多いです。いわゆる延命治療につながる恐れがあります。高齢患者さんにとって、気管挿管、人工呼吸器管理がどの程度、治療に貢献できているのかを把握することが本研究の目的です。
利用・提供する情報の項目	我々は、過去10年の当院の診療録をさかのぼり、気管挿管を伴う人工呼吸器管理を受けた75歳以上患者さんのデータから、生存されたまま退院された患者さんの割合、抜管(気管チューブを抜去)し、人工呼吸器から離脱出来た患者さんの割合、および患者さんそれぞれの背景を調べました。
利用・提供方法	診療録からの抽出、転記となります。
利用する研究機関の範囲	当院のみ
責任者	呼吸器内科 小島 克之
問い合わせ先	東海中央病院 058-382-3101

もし、研究や情報の提供に同意をいただけない場合には、お手数ですが問い合わせ先までご連絡ください。

なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。